



H22.6.25 フライト

☆☆ 測量用航空機「くにかぜⅢ」運航・管理業務を民間初受託 ☆☆

当社では、国土交通省国土地理院が運用(国土交通省所管)するセスナ式208B型測量用航空機「くにかぜⅢ」の運航・管理業務を、平成22年6月より民間で初めて受託しました。

【業務の内容】

測量用航空機「くにかぜⅢ」を運航する体制の確保及び運航や管理を行います。

【履行期間及び履行場所】

履行期間 平成22年6月4日から平成23年3月31日

履行場所 東京都調布飛行場を運航・管理の拠点とし日本全国としています。

(東京都小笠原村は除く)

【「くにかぜⅢ」による国土地理院の運用内容】

非常時については、災害対応等を目的とした空中写真撮影及びビデオ撮影を行います。

また、平常時においては、電子国土基本図(地図情報)の修正を行うための高速道路等の撮影、火山活動の監視のための周期撮影、防災訓練、合成開口レーダ(SAR)などの調査研究を行います。

今年度の主な計画は、東京国際空港(羽田空港)、開通予定の高速道路、伊豆諸島、浅間山など約50箇所の撮影及び防災訓練への参加を予定しています。